

P C ・ P V C フ リ ー エ ク ス テ ン シ ョ ン チ ュ ー ブ

再使用禁止

【禁忌・禁止】

再使用禁止

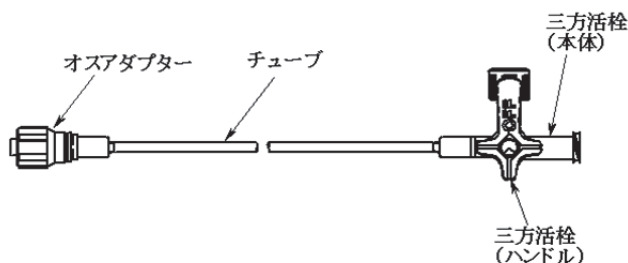
<使用方法>

造影剤等の高圧注入に使用しないこと。
[破損する可能性がある。]

【形状・構造及び原理等】

本品は、チューブ両端が他の医療機器と接続できる形状を有しているため、輸液ラインの延長に使用される。

<構造図(代表図)>



- 1) チューブ：ポリブタジエン
- 2) 三方活栓(本体)及びオスアダプター：ポリプロピレン
- 3) 三方活栓(ハンドル)：ポリエチレン

【使用目的又は効果】

本品は、輸液などのラインを延長するために用いる。

【使用方法等】

- 1) 輸液セット等に接続する。
- 2) 三方活栓付の場合、ハンドルの位置が閉塞した流路となる。使用目的により、ハンドル位置を切り替えて使用する。

<使用方法等に関連する使用上の注意>

- 1) 使用の際は、汚染に十分注意すること。
- 2) 接続は確実にを行い、使用中は緩みや破損がないことを定期的に確認すること。
[液漏れ、空気混入等の可能性がある。]
- 3) 接続する際は、締め過ぎに注意すること。
[必要以上の過大な力で締め付けると、アダプターが外れなくなる又は、アダプターが破損し、液漏れ、空気混入等の可能性がある。]
- 4) テーパー部に薬液を付着させないこと。
[嵌合部に緩み等が生じる可能性がある。]
- 5) テーパー部に薬液等が付着した状態で、締め付け及び増し締めを行わないこと。
[通常より深くテーパーに入り込むことで、コネクタの変形、破損を引き起こし、接合部からの薬液の漏れ、空気混入の原因となる。]
- 6) 三方活栓のハンドルに対し、引き抜く方向に過度な負荷を加えないこと。
[ハンドルが外れ、液漏れをおこすおそれがある。]
- 7) 三方活栓から針を用いて混注する場合は、混注用キャップ等を用いるとともに、適切な長さの針を選択して、針先がハンドル部に接触しないようにすること。
[ハンドルにピンホールが生じて、液漏れの可能性がある。]

- 8) 混注する場合は、混注する薬剤を考慮し、必要な場合はフラッシュを行うなどの適切な方法で行うこと。
[混注後薬剤の一部が滞留し、直ちに流れない可能性がある。]
- 9) チューブが折り曲げられたり引っ張られたりした状態で使用しないこと。
[チューブ結合部等の破損、外れが生じる可能性がある。]

【使用上の注意】

<不具合・有害事象>

手技に伴い、一般的な不具合や有害事象が発生する恐れがある。有害事象が発生した場合は術者の知見に基づき、適切な処置を行うこと。

- 1) 重大な不具合
 - ① 本品破損
 - ② 液漏れ
- 2) 重大な有害事象
 - ① 感染
 - ② 空気塞栓
- 3) その他の有害事象
 - ① アレルギー反応

【保管方法及び有効期間等】

<保管方法>

水ぬれ、直射日光、高温多湿を避け保管すること。

<有効期間>

箱に記載している使用期限を参照のこと。(自己認証による)

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

<製造販売業者>

株式会社八光
TEL 026-275-0121

<製造業者>

株式会社八光

販売窓口:

東京都文京区本郷三丁目 42-6
TEL 03-5804-8500